

世界と日本の食料安全保障

～ウクライナ危機を受けて～

2022年 4月13日（水） 12:00～13:30

Zoomウェビナーによるオンライン開催 / 定員:500名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費無料

講演 1

12:00～12:30



「ウクライナ危機で改めて注目される食料安保 ～米中貿易摩擦への波及～」

農林中金総合研究所 理事研究員 阮蔚（ルアン ウエイ）

ウクライナ危機により小麦輸出トップのロシアが制裁を受け、世界は供給不安から価格高騰など混乱期に突入。世界各国は改めて食料安全保障重視に転じ、中国は、米中摩擦の激化も懸念し、再び食料自給率の向上に力を入れる。世界の食料貿易は保護主義に向かうのか、自由貿易を守れるのか？

講演 2

12:30～13:00



「国際情勢と日本の食料安全保障 ～特質と課題～」

農林中金総合研究所 執行役員基礎研究部長 平澤明彦

日本農業は土地資源の制約が厳しく、国レベルの食料確保が主要な課題です。日本の経験を踏まえた海外調達要点、国際的な論調と情勢の変化、欧州の施策動向との対比、国内生産基盤の脆弱化の問題点などについて解説します。

質疑応答

13:00～13:30

オンライン参加者との質疑応答・意見交換

申込方法: 下記 URL または QR コードよりお申込みください
(申込期限: 4月8日(金))

https://zoom.us/webinar/register/WN_EvYiLbBQSemz-f11TQtbEw

